

76 環境と調和のとれた食料システムの確立

<対策のポイント>

環境と調和のとれた食料システムの確立に向けて、**みどりの食料システム戦略**に基づき、**資材・エネルギーの調達から生産、加工・流通、消費までの各段階における環境負荷低減の取組とイノベーションを推進**します。

<政策目標>

化学農薬・化学肥料の使用量低減等、**みどりの食料システム戦略**に掲げたKPIの達成〔令和12年〕

<事業の全体像>

みどりの食料システム戦略推進総合対策 574百万円（R7補正4,000百万円） 農畜産分野におけるグリーンな生産体系への転換、有機農産物の生産・需要拡大、環境負荷低減の「見える化」やJークレジットの推進などみどり戦略に基づく取組の加速化	食品産業における持続可能性に配慮した取組の推進 サステナビリティ課題解決支援事業 50百万円 - 気候変動などのサステナビリティ課題の解決に向けた官民の連携を推進 食品ロス削減・プラスチック資源循環対策 89百万円（R7補正260百万円）の内数 - 地域の未利用資源の活用、食品リサイクルの効率化・ブランド化の取組を推進 フードテック支援事業 46百万円（R7補正181百万円）の内数 - 環境負荷低減や労働生産性向上に資するフードテック等を支援 アグリテック系スタートアップ重点化支援対策（R7補正2,070百万円の内数） - 気候変動適応技術等の革新的な研究開発や、その事業化に取り組むスタートアップを支援 等
環境負荷低減や気候変動への適応に資する技術・生産体系の研究開発の推進 戦略的農林水産研究推進事業 912百万円の内数 - 環境負荷を低減する化学農薬施用技術や畜産からのGHG排出削減技術等の開発を実施 生産性の抜本的な向上を加速化する革新的新品種開発（R7補正3,010百万円の内数） 等 - 気候変動に適応する高温耐性品種の開発等を実施	林業・水産業における持続可能性の確保 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策 15,350百万円の内数 林業・木材産業国際競争力強化総合対策（R7補正44,993百万円の内数） - 搬出間伐の実施、省力・低コスト再造林、エリートツリー等の苗木の安定供給等の推進 漁業構造改革総合対策事業 179百万円（R7補正6,500百万円）の内数 - 漁獲対象種の転換等による収益性向上の実証を支援 養殖業成長産業化推進事業 295百万円の内数 - 輸入や天然資源に依存している魚粉の使用割合を削減した飼料、人工種苗の開発 水産業競争力強化緊急事業（R7補正21,780百万円の内数） - 水産業の体質強化を図り持続可能な操業体制への転換を推進 等
農畜産業における環境負荷低減や気候変動への適応の取組の推進 環境保全型農業直接支払交付金 2,804百万円 - 有機農業や化学農薬・化学肥料の使用量低減の取組促進 強い農業づくり総合支援交付金 12,013百万円の内数 農地利用効率化等支援事業 1,087百万円の内数 産地生産基盤パワーアップ事業（R7補正8,000百万円の内数） - CO2ゼロエミッション化等のみどり戦略に掲げる取組に必要な施設、機械の整備 米穀等安定生産・需要開拓総合対策事業 1,514百万円の内数 - 穀物の高温耐性品種に係る種子生産の取組を支援 果樹農業生産力増強総合対策 5,556百万円の内数 - 遮光ネット等の資機材の導入、気候変動適応対策の実証等の取組を支援 気候変動対応等高需要種子増産・確保緊急対策事業（R7補正184百万円の内数） - 穀物の高温耐性品種に係る種子生産の取組を支援 飼料生産基盤立脚型酪農・肉用牛産地支援のうち有機飼料の生産支援 5,183百万円の内数 - 飼料の有機栽培を支援 持続可能性配慮型畜産推進事業 64百万円の内数 - 畜産分野における温室効果ガス（GHG）対策の普及啓発等を実施 等	持続可能な農山漁村の整備 環境との調和に配慮した - 農業生産基盤の整備、農業水利施設の省エネ化等の推進 - 森林吸収量の確保・強化や国土強靱化に資する森林整備の推進 - 水産資源の増大のための施設整備